

第7回明治大学建築シンポジウム 世界最高峰の技術を目指して『建築構造の未来と課題』

我が国の建築構造，建築材料・施工の将来あるべき姿を，世界の技術レベルと比較しながら考えるシンポジウムを開催する。我が国の建築技術をグローバルな観点から紹介するとともに，将来の位置づけを提案し，そのための技術的な課題について参加者で討議する。

開催日時 2009年11月7日（土）13時30分～17時30分

会場 明治大学駿河台校舎 リバティ・タワー1022

プログラム

司会 荒川利治

第1部 招待講演（世界の技術と日本の技術）

- ・世界から見た我が国の材料・施工レベルと課題 本田徹先生（タイセイ総合研究所代表取締役）
- ・海外に学ぶ：強さを基本に - 建築はアトラクティブに 和田章先生（東京工業大学教授）

第2部 技術講演（我が国の建築構造，建築材料・施工の新技术）

明治大学理工学部建築学科で開発している技術を中心に，我が国の革新的な建築構造，材料・施工の新技术やその課題を紹介する。

- ・材料新技术 小山明男（明治大学）
- ・スウェーデンと日本の木質構造技術コラボレーション 那須秀行先生（住友林業 主任研究員 兼 スウェーデン王国 SP 技術研究所 プロジェクトマネージャー）
- ・免震構造の現状と課題 小林正人（明治大学）
- ・設計法新技术 平石久廣（明治大学）
- ・新構法 PC+S 複合構造梁および耐震補強法の開発 高木仁之（明治大学）

第3部 パネルディスカッション

世界最高峰の技術を目指して コーディネイト 野口弘行（明治大学）

主催 明治大学理工学部建築学科 参加無料，事前参加申込み不要

問合せ 明治大学建築学科資料室 T.044-934-7339